

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ウズベキスタン共和国
2. 案件名	フェルガナ州におけるマハッラバイ政策支援事業—マハッラにおける小規模ビジネス・起業家育成の成功モデルの創出
3. 事業の背景と必要性	人口増が著しく若年人口比率の高いウズベキスタンにおいては、新規雇用創出や貧困削減は社会課題であり続けてきた。本事業の対象地域であるフェルガナ渓谷は、中央アジアの中でも最も人口稠密な地域であり、雇用創出や都市農村格差の問題が特に顕在化しやすい地域である。現地の課題は、金融支援と技術支援のミスマッチなど支援の「実施過程」にあると考えられ、とりわけ、①参加者のターゲティング（選抜）、②参加者のトレーニングやその他の技術的支援、③参加者のモニタリング（監視、監査）が十分に実施されていない。本事業では技術支援を通して手に職を持たない低所得・脆弱層に支援を行い、新規ビジネス・新規雇用創出を目指す。
4. プロジェクト目標	フェルガナ州のマハッラにおいて、新規ビジネス・新規雇用創出を達成し、マハッラバイ政策の成功例を生み出す。
5. 対象地域	フェルガナ州において選抜された1つ以上のマハッラ
6. 受益者層（ターゲットグループ）	プロジェクト対象として選出されたフェルガナ州の1つ以上のマハッラにおいて起業ビジネスに関わる住民30名以上（手に職を持たない低所得・脆弱層を対象とし、10名以上は女性を想定する。）マハッラ委員会委員5名
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>1: マハッラにおける小規模ビジネス・起業家育成の支援において、フェルガナのマハッラをケースとして、実施プロセスの模範的モデルを作り出す。</p> <p>2: 小規模ビジネスや起業家が育成され、ビジネスモデルの事例が作られる。</p> <p>3: 上記の実践を踏まえた関連機関への提言がなされる。</p> <p><活動></p> <p>1-1: マハッラ委員会と経済顧問（ヨルンダンチシ）と協力し、支援対象者のターゲティングとモニタリングの実施手法を向上させるためのマニュアルを作成する。1-2: フェルガナ州・市当局、労働貧困削減省と協議し、支援スキームのベストミックス（技術訓練・金融）を検討する。1-3: 実施プロセスの改善策を提案し、現地の関係者と知見を共有する。</p> <p>2-1: 稼得能力を向上させるために、地域における失業者や脆弱層に技術訓練を実施する。2-2: 新規皮革生産事業者設立のための支援を行う。2-3: 生産者同士のネットワーク作りを行う。2-4: 現地の生産指導者の技術を向上させるために、本邦研修等を実施する。</p> <p>3-1: 関連機関（フェルガナ州・市当局、雇用貧困削減省等）への提言を行い、ベストプラクティスを共有する。</p>
8. 実施期間	（西暦）2023年10月～2026年9月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	9,953千円
10. 現地カウンターパート	地域経済発展支援センター（HIRKM）
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	北海道大学大学院経済学研究院 地域経済経営ネットワーク研究センター（REBN）
2. 活動内容	北海道大学の経済学研究院に設置された産学連携の受け皿としてのセンター。同大学経済学研究院の研究者及び外部の実務家・研究者によって構成される。